


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

2019年 10月 15日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	義村 弘仁

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
東京
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
多摩動物公園でのユキヒョウ調査
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
2019年 10月 3日 ~ 2019年 10月 15日 (13日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
多摩動物公園
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
<p>多摩動物公園において飼育管理中のユキヒョウ雌3個体の行動観察および採糞を行なった。天候の影響で12日間の調査期間のうち観察を行えたのは10日間であった。観察できなかった日についても採糞は飼育担当の方に継続していただいた。</p> <p>残念ながら今回の調査では放飼場内の植生調査は行うことができなかったが、放飼場内に優占していたのがドクダミであったのに対し、観察においてユキヒョウが食べていたのはイネ科と思われる2種がほとんどであった。また、数日のみ遊具として与えられたワラを食べている様子も観察された。</p> <p>糞サンプルについては冷凍保存しWRCで凍結乾燥後、流水洗浄して糞中の植物と毛の量を調べる。</p> <p>また、腸内細菌分析用の新鮮糞も各個体で最低一回ずつ採取することができた。これらについてWRCのディープフリーザーで保存し、北海道大学の早川助教と共に分析する予定である。</p>

図1:イネ科を食べるユキヒョウ
6. その他 (特記事項など)